

レファ通

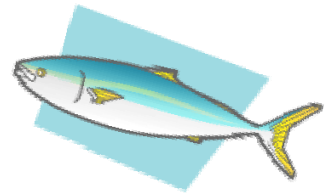
～レファレンス通信～

No. 3
2010. 1. 4
石川県立図書館
利用サービスグループ

快刀乱麻、回答乱麻！ 3 ～天狗は鯖がお嫌い？～

実際に受けた
事例を紹介します。

Q. 昔から、天狗は人をさらうという言い伝えがあるが、
いなくなった人を捜す時、「鯖食った〇〇おらんかー」
と叫びながら捜したってホント？

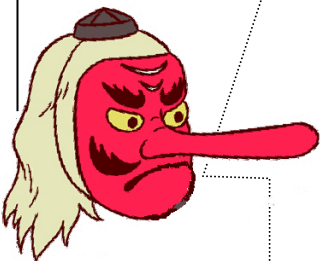


A. 『信仰と民俗(民俗民芸双書90)』(K385-43 小倉学著 岩崎美術社)
の294ページに「天狗伝説」の項目があり、
295、301、309ページには「天狗の嫌うものは鯖である」とあります。

『加能民俗』(K382-12 国書刊行会)p11「天狗と鯖」(上田永吉著)にも
…天狗が鯖を嫌うと言われ、その例として次のような事が石川郡で行われ
る。(中略)

男の子供が行方不明になったりした時は之を天狗にさらわれたと考え、探
す時には村人が天狗は鯖を食った者を嫌うということから「鯖食た誰々
居らんかー」と大声で叫びながら尋ね歩くのだと聞いている。…

と、記載がありました。よほど鯖が苦手なのでしょうね。
ただ、理由については、記載されている資料が見つからず、不明です。



調べたいことがあれば、お気軽に調査相談カウンターまでご相談ください。

電話:076-223-9575 FAX:076-222-2531

メール: chosa@pref.ishikawa.lg.jp



天狗についてももう少し こうしてしらべよう 3

天狗についてももう少し調べてみましょう。

[館内のパソコンで検索]

【資料の検索】ボタンを押し→【タイトル・キーワード】欄に

「天狗」や、「妖怪」などの単語を入れてみましょう。

するといくつか該当する資料がでてきます。それらを一冊ずつあたってもいいのですが、もっと簡単に知るには

『日本妖怪大事典』角川書店(R388. 1-10129)などの辞書・事典を開いてみましょう。



天狗・・・ 深山にすみ、自由に空を飛ぶことができるという想像上の妖怪。山伏姿で、翼をもち神通力があり、大天狗は顔が赤く鼻高く、羽団扇を持つ。小天狗は烏天狗ともいい、烏の顔をしている。多くはこの形だが、姿や様子は時代により異なっている。山伏姿をしているのは、修験道に端を発するものであるまた、善悪の二面性を持ち合わせており、守護神とする一方で、暴風雨を起こし、神隠しをするような恐ろしい性質が語られる。

と出てきます。

これで、天狗の容姿や性格についておおまかに知ることができます。



また、**天狗**の項目の中には以下のような天狗が起こす怪異についての記述もあります。

天狗隠し・・・ 神隠しの類で、天狗が若者や子どもを攫っていき、しばらくしてから戻ってきて、天狗様に各地を案内してもらったなどという。

天狗礫・・・ 山中で突然、小石や砂が降ってくるというもの。(中略)本来は山中での怪異なのだろうが、『聖城怪談録』には加賀の町中で起こったという話がある。大聖寺で菅生石部神社の神主の大江相模守が天狗礫にあった。石が上空から降ってきて、足元に落ちたのだが、見ると石はなく、また川に石礫が落ちて波紋が立つのだがやはり石は見えないといった不思議な状況だったという。

※『聖城怪談録』江沼地方史研究会／1957(K388-13)

ここで、石川県で起きた怪異が例として出てきたので、石川県の百科事典も見てみます。

『石川県大百科事典』(K030-7)に天狗伝説という項目があります。そこには

・・・小倉学氏の調査によると県内の天狗伝説は54例ほどあり、神隠し 天狗倒しなどの怪異も含まれている。また、防火の神としての伝説もあり、金沢市には天狗像や、天狗が文字を刻んだ板を奉った寺もある。・・・

とかかれており、県内に天狗に関する寺社などがあることもわかります。

※小倉 学(1912~2003)・・・金沢市出身。文学博士。民俗学、国文学者。

他にも、県内には天狗の名が付く地名や商品がありますので、

興味を持った方は、ぜひ参考図書コーナーへ！